

柏ビレジ自治会便り

2012/1月・2月号

# 柏ビレジ・ニュース

2012年2月10日  
柏ビレジ自治会発行  
自治会事務局(自治会館)  
TEL 04-7132-1925  
FAX 04-7132-1965

今年も…  
備えあれば憂いなし!



## 祝 柏ビレジは今年30周年を迎えます

### 恒例! 餅つき大会

柏ビレジの新春を彩る恒例の餅つき大会が1月8日(日)、柔らかな日差しの下で疾風太鼓の合図とともに近隣公園で開催されました。今年は移動炊飯車を持つ自衛隊の協賛による初めての餅つきとなりました。これは、災害時の炊き出しに活躍できる通称「自炊車」と呼ばれる車両の、地域住民との予行演習という意味合いがあり、また、自治会行事を支える役員の高齢化に鑑みて自治会が依頼したものです。準備万端で当日の朝を迎えたつもりでしたが、餅米を蒸し上げる過程で炊飯車に不測の事態が発生し、餅を配るのがかなり遅れてしまいました。自治会役員一同、紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

一方、豚汁は大変美味しいとの評価をいただき、鏡開きの樽酒も好評でした。餅を配るテント前には長い行列ができ、遅々として前進しないので列を去る方も少なからずいたようです。待ち焦がれて、泣きながら「お餅が食べたいよー」とお母さんにおねだりする幼い女の子の声を聞いた時、「ごめんね」と心の中で呟きましたが忸怩たる思いです。ともあれ、辛抱強く待ってくださった方々には遅ればせながら全員にお配りすることができました。延べ人数700名以上の参加があり、使われた餅米は昨年より多い168キロとなりました。アクシデントがあったにも拘らず、経験豊かな方々を中心とするスタッフ全員が一致団結して作業ができた貴重な1日でもありました。

最後に、特別参加していただいた自衛隊の方々のご尽力に厚くお礼申し上げます。また、自治会サポーター、子供会、自治会役員の皆様には準備から後片付けまで献身的なご協力をいただきました。恒例の餅つき大会が、来年も大過なく実施され、地域活性化の一助となりますよう願っております。



### 防災訓練

#### 一 防災部

▼平成23年12月10日(土)、柏西部消防署大室分署の協力を得て、総勢60名の参加者により、防災(避難・初期消火・応急救護)訓練を実施いたしました。

当日、参加者は10時に支部毎に所定の避難訓練集合場所に集り、同地より支部長が簡易無線機を使用して自治会館本部と交信し、集合状況・参加人数を連絡、支部長の先導で訓練会場(近隣公園)へ向いました。支部毎の集合場所と訓練会場(近隣公園)間には遠近差があり、各支部の到着時刻に15分程の差がありましたが、10時20分には全支部が到着し、訓練会場受付にて参加人数・氏名を報告し、避難訓練は終了しました。簡易無線機による支部長・本部間の交信は進捗状況を伝える際に大変に有用なものでした。災害時には電話や携帯電話が不通になることが想定されます。柏ビレジでは各支部長が通信手段として簡易無線機を所持しており、毎月開催される役員会当日、支部長と自治会館無線室(防災部)間で通信訓練を行っています。

▼初期消火訓練は署員による消火器の構造・取扱説明・消火器による実演に続き、参加者全員が順番に目標物まで消火器を運び、安全ピンを抜いて放水するという訓練を行いました。

ご家庭にある古くなった消火器は市・消防署・自治会等では回収していません。ホームセンター等で新品購入時に回収しています。訪問販売による悪質業者には、くれぐれもご注意ください。

▼その後、自治会館ホールに場所を移し、応急救護訓練に入りました。三角巾の使い方は署員の指導の下に、二人一組となり、頭・腕への使用方法、腕の骨折・足首の捻挫時等の使い方を練習しました。練習時にはできても、普段、ほとんど使うことが無い三角巾、使用方法を忘れてがちとなります。日頃から練習して使い方に慣れておきたいものです。AED(自動体外式除細動機)の使い方では人形の上半身を使って署員による実演が行われました。AEDは傷病者の心臓のリズムを自動的に調べて、除細動が必要かどうかを決定し、救命の手順を音声でガイドしますが、人工呼吸と心臓マッサージが第一であるとの認識を新たにされた方も多かったと思います。

AEDは消防署・近隣センター(含:柏ビレジ近隣センター)・小学校・中学校等に設置されています。

12時には、全ての訓練が終了し、参加者全員で署員に協力御礼の挨拶をし、解散となりました。今回の訓練は、参加者が見ているばかりでなく、全員が各訓練に参加できて良かったと思います。残念なことに、参加者が少なく、今後は、訓練内容の充実を図るとともに会員の積極的な参加をお願いいたします。



### 放射線問題への取り組み - 環境部

#### 柏市が「汚染状況重点調査地域」の指定を受けました。

「1/15広報かしわ」によれば、必ずしも柏市全体が福島原発の事故が原因の放射性物質により汚染されているわけではないが、市内各所で0.23マイクロシーベルト/時を超える値が計測されており、1日も早く市民が安心して暮らせる環境を取り戻すため、国の財政的・技術的支援を受け、全力を挙げて「除染」に取り組むとのことです。これより先立つこと昨年12月に回覧で自治会員にお知らせしましたが、市・個人などでの測定結果により、周辺の空間放射線量と比べて1マイクロシーベルト/時以上高い数値が測定(地表から1mの高さ)された場所は、文部科学省に通報し除染の支援を要請しますという柏市の発表(11/1広報)を受け、自治会は地域内の放射線量の測定をより積極的に行い、また住民の強い要望もあって測定器を1台追加購入し、12月19日から貸出を開始しています。

#### ▼貸出申込みの要領

1. 場所: 柏ビレジ自治会館内B会議室
2. 申込み日時: 月～金曜日午前9:30～12:00
3. 貸出日時: 月～金曜日午前10:30～12:00
4. 貸出期間/返却期限: 貸出日翌日の午前10:00まで

自治会役員を中心にボランティア6人が対応に当たっていますが、1月14日現在22件の申込みがあり、既に8件の貸出がなされました。主に自宅の庭や周辺の測定に利用されているようです。今のところ個人住宅での周辺の空間放射線量と比べて1マイクロシーベルト/時以上(地表から1mの高さ)の高い数値が測定された場所の報告はありません。個人の住宅で比較的高い線量を示す場所は、以下の通りです。

- ・雨樋の直下
- ・屋根から直接地表面に雨水が落ちる箇所
- ・雨水の溜まりやすい箇所
- ・土埃の溜まりやすい箇所
- ・側溝など

高い放射線量を測定した場合、その地点の周辺(半径3～5m)の放射線量を測定し、地表から1mの高さで周辺より1マイクロシーベルト/時以上高い数値が測定された箇所については自治会館へお知らせください。自治会から柏市放射線対策室に連絡をとります。

放射線量の測定の方法については、測定器の貸出時にご説明しています。また、個人住宅などでの除染および清掃活動の実施方法と発生した廃棄物の処理について柏市作成のマニュアルを自治会館に用意しています。

#### お知らせ

さる1月10日自治会環境部による測定で、ビレジ近隣公園の側溝部分で2.6～2.8マイクロシーベルト/時の放射線量が測定され、市の放射線対策室に連絡を取り対策を求めました。市職員による再度の確認測定の上、汚染された土は専用袋に入れられ、市の仮置き場に搬送されました。汚染された土を取り除いた後の測定値は0.40～0.45マイクロシーベルト/時となりました。

# ご存知ですか!? 身近に使える公的相談窓口・サービス(介護/年金/生活その2)

現地に出向いて聞いてきました!

福祉部

## さわやかサービス

### Q1. 誰が誰を対象にどんなことをしているのですか?

柏市にお住まいの高齢者や障害をお持ちの方など、日常生活にお困りの方を対象に、柏市社会福祉協議会が独自の事業として実施する、地域の協力会員の協力を基本とした、会員制の有料在宅福祉サービスです。介護保険事業ではありません。

### Q2. 多い相談・サービスにはどんなものがありますか?

- ・在宅サービスでは、例えば、産前2か月から産後6か月までの期間、調理、洗濯、掃除、買物などのお手伝いを必要に応じて行います。赤ちゃんの入浴は対象外です。利用は、月～土 7時～19時(除く年末・年始)
- ・緊急通報サービスは、急を要する支援が必要な時、緊急ボタンを押すと受信センターに通報が入り、タクシーが自宅へ急行し、必要に応じて110番、119番に出動要請をします。24時間対応します。
- ・車いすに乗ったまま乗車できる送迎サービスも行っています。同乗できる介助者が1名必要です。通院、買物、散策などにご利用ください。利用は、月～土 9時(出庫)～17時(入庫)(除く年末・年始) サービスを受けるには年会費1,200円のほかにそれぞれ利用実費がかかります。



### Q3. 相談するにはどうしたらいいのですか?

電話・窓口とも相談を受け付けています。 平日 9:00～17:00

### Q4. どこにあるのですか? どうやって行くのですか?

- 所在地: 柏市柏5-11-8 いきいきプラザ1階 柏市役所に隣接。  
☎7162-2557(送迎サービス相談は☎7193-2941)
- 車では、国道16号呼塚交差点先、柏市役所前右折、すぐ左。市役所敷地内駐車場有。

### Q5. 福祉部感想

地域支援課の加藤さんにお話をお伺いしました。主に地域の協力会員によって活動が支えられていることを再認識しました。現在、田中地区の協力会員は18名と、まだまだ少なくサービスをお断りすることもあるそうです。協力会員募集中で、研修も実施、活動費が支給されます。

## 柏市消費生活センター

### Q1. 誰が誰を対象にどんなことをしているのですか?

市民の消費生活に関する相談や苦情を専門相談員が、皆さんと共に考え、解決のためのお手伝いをしています。秘密は厳守されます。自立した賢い消費者の育成をめざして消費者教育も実施しています。柏市役所 市民生活部に属している機関です。

### Q2. 多い相談・サービスにはどんなものがありますか?

- ・やはり、お金に関する相談が多いです。例えば、多重債務、投資契約など。最近は一時より減る傾向にはあります。
- ・東日本大震災以降は、震災に関連した相談が増えています。例えば、訪問販売業者に、屋根の修繕が必要と言われていたが、本当に必要? 値段は妥当? ほか。
- ・パソコン、携帯電話でのトラブルも増加傾向です。例えば、「身に覚えのない請求がきた、見知らぬ相手とのメールのやりとりをして高額被害に遭った」等。ネット情報のワンクリックには十分気をつけて。
- ・最近の傾向として内容が複雑・高度化して解決に時間がかかる事案が増えてきています。

### Q3. 相談するにはどうしたらいいのですか?

電話・窓口とも相談を受け付けています。相談は無料です。  
平日 9:00～16:30 第3土曜日13:00～16:30(電話のみ)

### Q4. どこにあるのですか? どうやって行くのですか?

- 所在地: 柏市柏4-9-7 そごうアネックス5階  
柏そごう本館6階からも連絡通路があります。読売文化センターの隣室です。  
☎7164-4100(相談専用電話)
- JR柏駅東口徒歩3分、専用駐車場はありません。

### Q5. 福祉部感想

センターの中村さんにお話をお伺いしました。ふるさと協議会等の推薦による「消費生活コーディネーター」を設け、町会での消費者講座等を企画しているとのこと。田中地区は4名。日頃の啓蒙活動が大切ということですね。おかしな騙されたと感じたら、まずは消費生活センターに!

## 下水道移管に伴う費用などについて

先日開催された説明会での質疑の内容からも、自治会員のひとつの大きな関心は、下水道移管に伴う費用その他金銭についてだと思えます。現時点では不確定要素も多いのですが、これまでの柏市、東急不動産の説明などから、以下の費用関連4項目について要点を解かり易く説明いたします。

### 1. 受益者負担金

下水道建設費の一部を受益者に負担させる制度で、柏ビレジは市の第4負担区に該当し、所有土地1㎡当たり530円と定められています。例えば、55坪 181.5㎡×530 96,195円となります。ただし、これは全く下水道施設が無い場合であり、柏ビレジのように集中浄化槽がすでにある場合は、市に寄贈される下水管などの残存価値の評価により減免されます。減免は最低でも25%、状態によっては100%と説明されています。柏ビレジの施設はかなり良い状態と言われており、大幅な減免となる可能性もあります。

### 2. 排水設備調査費・申請費/修繕費

宅地内の排水設備は市への寄贈対象ではなく個々の所有です。公共下水道へ接続するため、排水設備に異常や故障が無いかが調査・申請の必要があります。調査費・申請費は柏ビレジと似た布施新町の事例では約17,000円でした。異常や故障がある場合の修繕費は個々のケースで変わって来ます。申請・調査および修繕については個人での折衝よりも、自治会内に発足させた「柏ビレジ公共下水道化委員会」が柏市管工事組合と一括交渉する方向で進めることとなります。

### 3. 公共下水道料金

現在、自治会員が支払っている下水道料金は一律月額3,500円ですが、柏市公共下水道料金は上水道使用量別に右上表の通りです。柏市によると、4人家族の平均使用量は40～50㎡とされ、この場合下水道料金は月額2,079～2,761円となり、家族構成にもよりますが相当安くなると見込まれます。実際には㎡単位で計算されます。表の数字はある程度の目安です。

### 4. 大修理充当金

自治会員は住宅購入時に大修理充当金として120,000円を支払っています。東急不動産からの報告は次のようになっています。  
大修理充当金総額…………… 204.5百万円  
平成22年度までの大修理総額… 121.9百万円(昭和61年～平成22年)  
平成22年度末残高…………… 82.6百万円

現在の汚水処理施設は、経年変化で老朽化が進み、大修理に必要な金額は増えて行くことが予想され、公共下水道へ移管しなければ充当金が不足するのは明らかです。住宅購入時に東急不動産と交わした覚書には、公共下水道へ移管の場合には汚水処理施設は更地にして東急不動産へ返還すると記されています。東急不動産によれば、更地にする為の費用は約2億円とされており、充当金残高82.6百万円では不足しますが、跡地の利用による収益でカバーするべく検討、追加の住民負担の無い方向で進めたいとしています。跡地については、住民の一部から福祉施設など公共的なものにして欲しいという要望もありますが、引き続き話し合われることとなります。

上水道使用量	水道料金
20㎡	1,890円
30㎡	3,024円
40㎡	4,158円
50㎡	5,522円
60㎡	6,888円
70㎡	8,798円
(2ヶ月分 平成23年度料金)	

尚、平成24年1月現在、移管同意書は約1,200世帯集まったとのこと。



今年の凧上げ大会 柏ビレジ凧  
2012年1月29日(日)

## 柏ビレジ活性化委員会の活動

～活き活きとした柏ビレジをめざして～

年度を越え将来に向けた案件を検討する委員会としてスタート、ほぼ1年半活動を続けています。時代の変化に対応し、一歩先の柏ビレジのまちづくりを目指して新しい生活を考えていく、それが活性化委員会です。

### 買物が簡単にできたらいいな

買物を助けてもらいたい人と買物をお手伝いできる人を新しいシステムで結びつける取組み、必要な野菜、魚、お肉などを近くの公園までもってくる、そしてお会いした皆さん同士でお茶とお菓子で楽しい会話ができるように。

### 柏ビレジ内で自動車の運転ができなくなったらどうしよう

ミニバスがお出迎え、そんな交通システムができないだろうか?

高齢者世代が多くなる時代の生き方、若さ維持健康法の勉強、生活支援をお願いしたい人と支援できる人のコンピュータでのマッチング そんな情報発信基地がビレジ内にできないだろうか、そこに寄ればお茶やおいしい惣菜もいただける、そして夜は、ちょっと立ち寄れるバーとなり、お元氣?の声を掛け合えられるような。

2011年12月、東大大学院新領域創生科学研究科環境学研究室と協力して、ビレジの生活に関するアンケートを実施、皆様のご協力により現在1000近い回収がありました。今後分析が進むにつれ、ビレジの要望、悩み、問題点等が明らかになってきます。それに対する対応を考えていきます。東大高齢社会総合研究機構とは高齢者支援サービスシステムを検討していきます。まず東大の先生をお呼びして“これからの柏ビレジの暮らしを考える”等のシンポジウム、続いてワークショップ(会話集会)等を通じ、システムの具体化を図っていきます。

柏ビレジ活性化委員会 代表 明渡